

イーストスプリング・  
インドネシア株式オープン

追加型投信／海外／株式

作成対象期間 2022年11月15日～2023年5月12日

第27期 2023年5月12日決算

日経新聞掲載名: ネシア株

第27期末	基準価額	10,444円
	純資産総額	9,290百万円
第27期	騰落率	-1.7%
	分配金合計	0円

(注)騰落率は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

## 受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、主としてインドネシアの金融商品取引所に上場されている株式を主な投資対象とする投資信託証券に投資を行い、信託財産の成長を目指して運用を行います。当作成対象期間につきましてもこれに沿った運用を行ってまいりました。ここに、その運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜われますよう、お願い申し上げます。

## イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

〒100-6905

東京都千代田区丸の内2-6-1丸の内パークビルディング

<https://www.eastspring.co.jp/>

[お問い合わせ先]

電話番号：03-5224-3400

(受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで)

当ファンドは、信託約款において運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順で閲覧、ダウンロードすることができます。なお、書面をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

&lt;運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法&gt;

ホームページにアクセス ⇒ 「ファンド情報」を選択 ⇒ ファンド名を選択 ⇒ 「目論見書・月報・運用報告書等」の「運用報告書(全体版)」を選択

## 運用経過

### 基準価額等の推移について

(2022年11月15日～2023年5月12日)



第27期首	10,625円
第27期末	10,444円(既払分配金0円)
騰落率	-1.7%(分配金再投資ベース)

(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様1人ひとりの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、期首の値が基準価額と同一になるように指数化しております。

### 基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は下落しました。

下落要因

・インドネシア株式市場が下落したこと。

# 1 万口当たりの費用明細

(2022年11月15日～2023年5月12日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	73円	0.717%	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 期中の平均基準価額は、10,242円です。
(投信会社)	(30)	(0.297)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(41)	(0.405)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	( 2)	(0.016)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	1	0.014	(b) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
(監査費用)	( 1)	(0.006)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印刷)	( 1)	(0.008)	目論見書および運用報告書等の法定開示書類の作成費用等
(その他)	( 0)	(0.000)	余資運用に係る費用 (マイナス金利相当額)
合計	74	0.731	

(注1) 期中の費用 (消費税等のかかるものは消費税等を含む) は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

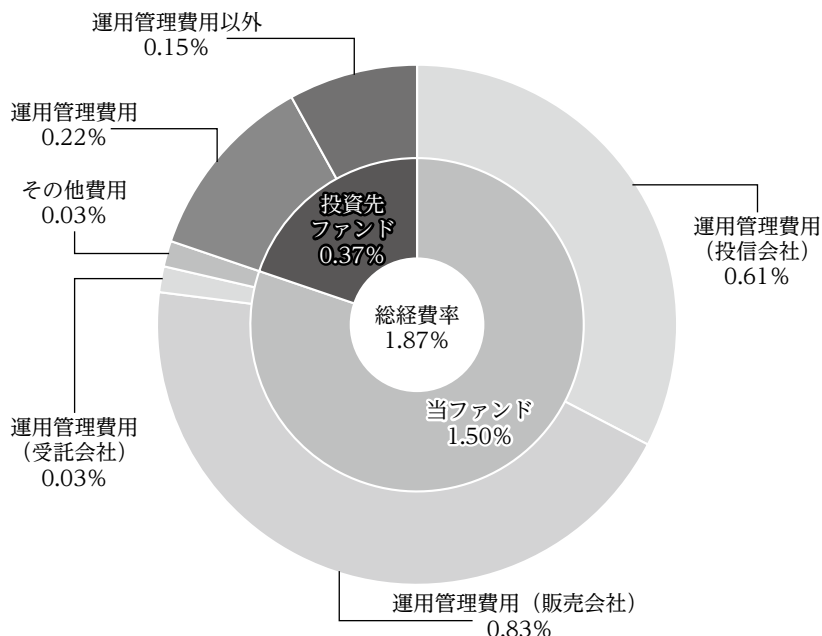
(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額 (円未満の端数を含む) を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

## (参考情報)

### ■総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.87%です。



総経費率 (①+②+③)	1.87%
①当ファンドの費用の比率	1.50%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.22%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.15%

(注) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

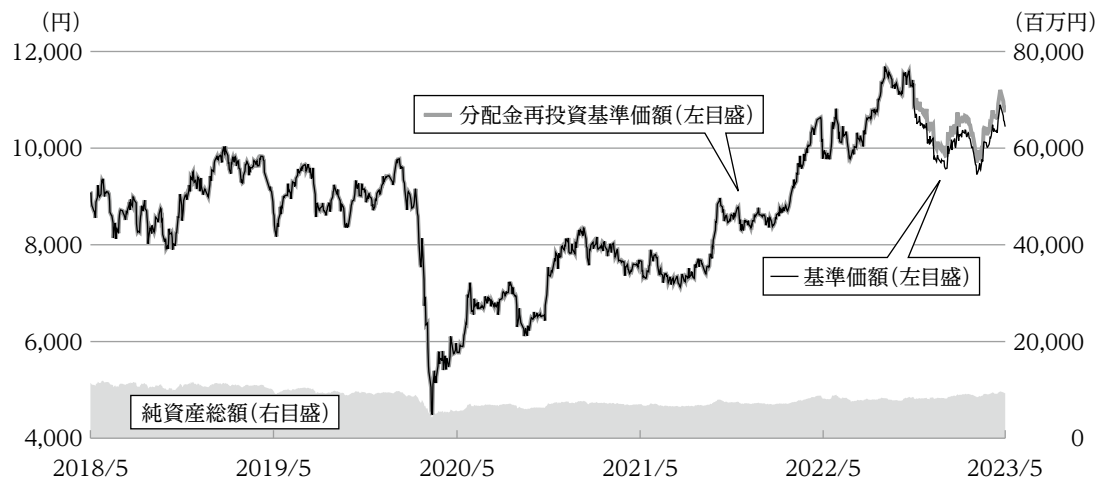
(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移について (2018年5月14日～2023年5月12日)



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様1人ひとりの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、2018年5月14日の値が基準価額と同一になるように指数化しております。

決算日		2018/5/14	2019/5/13	2020/5/12	2021/5/12	2022/5/12	2023/5/12
基準価額	(円)	9,077	8,893	5,964	7,615	10,189	10,444
期間分配金合計(税引前)	(円)	—	0	0	0	0	300
分配金再投資基準価額の騰落率(%)		—	-2.0	-32.9	27.7	33.8	5.4
純資産総額	(百万円)	11,396	9,966	5,778	6,997	8,423	9,290

\*当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

### インドネシア株式市場

当期のインドネシア株式市場は下落しました。期初から2023年1月中旬にかけては、世界的なインフレ加速への懸念や欧米の中央銀行による金融引き締め政策を背景に景気後退が意識され、外国人投資家の利益確定売りに押される展開となりました。その後、2月中旬にかけては米国のインフレ観測が後退し、米連邦準備制度理事会（FRB）が利上げペースを緩めるとの期待や、ゼロコロナ政策を終了した中国の景気回復期待などから投資家心理が好転し、インドネシア株式市場は上昇しました。3月には欧米で銀行の破綻や経営不安が相次ぎ、世界的にリスク回避姿勢が強まる中、インドネシア株式市場は下落に転じました。しかし、各国金融当局の迅速な対応により市場は落ち着きを取り戻し、さらにFRBによる利上げ打ち止め期待なども支援材料となり、外国人投資家からの堅調な資金流入が続いたことから、インドネシア株式市場は期末にかけて上昇しました。

### 為替市場

当期のインドネシアルピアは対円、対米ドルで上昇しました。期初から2022年12月下旬にかけて、ルピアは対米ドルで小動きとなりましたが、対円では12月に日銀が長短金利操作における許容変動幅の拡大を決定し円買いの動きが強まったことから下落しました。その後、ルピアは米金利低下を受けて2023年1月下旬にかけて上昇しましたが、3月中旬にかけては米金利の上昇や欧米の金融不安などを背景に投資家のリスク回避姿勢が強まり弱含みとなりました。期末にかけては、投資家心理が好転する中、株式および債券市場への外国人投資家からの資金流入を受けてルピアは上昇しました。

### 国内債券市場

日本国債利回りは期初から2022年12月中旬にかけて、狭いレンジでの推移となりましたが、日銀が12月の金融政策決定会合で長短金利操作における許容変動幅を拡大したことを受けて上昇（価格は下落）しました。2023年3月には欧米の金融不安が高まる中、利回りは急低下しましたが、植田新日銀総裁就任後の日銀の政策修正観測から上昇に転じました。しかし、4月下旬の金融政策決定会合を受けて早期の政策修正観測が後退し、利回りは低下しました。

## ポートフォリオについて

### 当ファンド

主要な投資対象の一つであるイーストスプリング・インベストメンツ - インドネシア・エクイティ・ファンド クラスJ（以下「インドネシア・エクイティ」ということがあります。）の組入比率を高位に保つよう運用しました。

### インドネシア・エクイティ

主としてインドネシアの金融商品取引所に上場されている株式を主要な投資対象として、企業の本質的な価値を重視したバリュー投資を基本とし、ボトムアップ・アプローチに基づく銘柄選択により、中長期的な超過収益の獲得を目指した運用を行いました。

当期は大手銀行のBank Rakyat、Bank Mandiri、Bank Central Asia、鉱山会社Merdeka Copper Gold、Aneka Tambangなどの株式保有がプラスに寄与した一方で、デジタル銀行Bank Jago、セメント会社Semen Indonesia、食品会社Charoen Pokphand Indonesiaなどの株式保有はマイナスに影響しました。

### イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型I（適格機関投資家向け）

主としてデュレーションをコントロールすることによって、ベンチマークであるICE BofA 国債インデックス（1-10年債）を中長期的に上回ることを目指して運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 分配金について

分配金額は、基準価額水準・市況動向等を勘案して、以下の通りとさせていただきます。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

### 分配原資の内訳（1万口当たり、税引前）

項目	第27期	
	2022年11月15日 ~2023年5月12日	
当期分配金 (円)		—
（対基準価額比率） (%)		—
当期の収益 (円)		—
当期の収益以外 (円)		—
翌期繰越分配対象額 (円)		1,820

(注1)「当期の収益」と「当期の収益以外」は円未満は切捨てて表示しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

(注2)当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3)－印は該当がないことを示しています。

## 今後の運用方針について

### 当ファンド

主要な投資対象の一つであるインドネシア・エクイティの組入比率を高位に保つことを基本とします。

### インドネシア・エクイティ

世界的に景気後退懸念が強まる中、インドネシアの長期的な見通しについては、人口動態の有利性や健全なマクロファンダメンタルズなどを考慮し、引き続き前向きに捉えています。2023年のインドネシアの国内総生産（GDP）は、堅調な消費と輸出の伸びにけん引され前年比約4.8%の成長を記録すると予想しています。足元の主要輸出品目は石炭やパーム油ですが、長期的には政府の川下産業強化の政策に沿ってニッケル加工品も加わることが予想されます。インドネシアの経常収

支は構造的な黒字化に向かっているとみており、通貨と債券利回りにとっては追い風になると考えています。一方で、投資家のリスク回避姿勢の変化による通貨の乱高下などには注意が必要です。今後の状況を注視しつつ、市場の調整局面はファンダメンタルズが堅固な企業の株式を割安な水準で組み入れる好機と考えています。

### イーストスプリング国内債券ファンド （国債）追加型I（適格機関投資家向け）

今後もファンダメンタルズ分析、金利動向予測、イールドカーブ分析等を行い、ベンチマークであるICE BofA 国債インデックス（1-10年債）を中長期的に上回ることを目指した運用を行っていく所存です。



## お知らせ

該当事項はありません。

## 当ファンドの概要

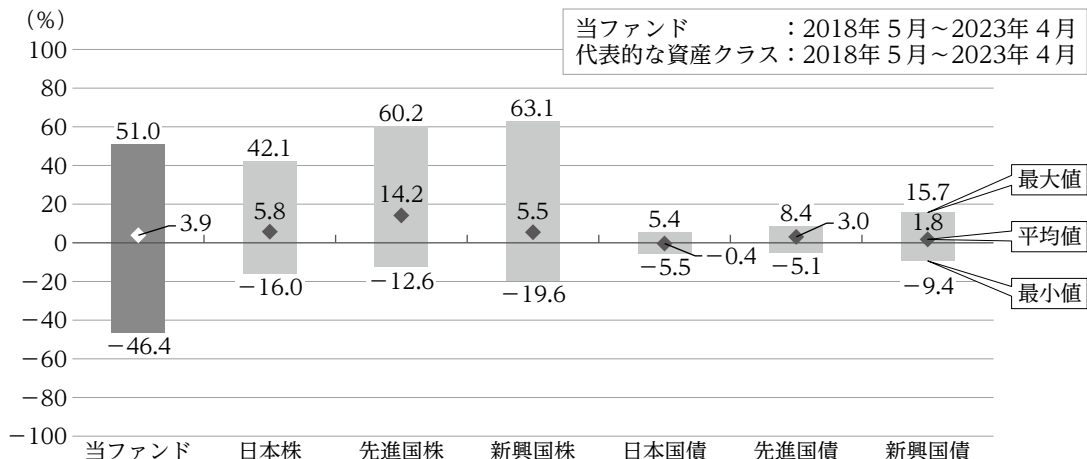
商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	無期限（2009年11月30日設定）
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主としてインドネシアの金融商品取引所に上場されている株式に投資を行い、信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	外国投資法人「イーストスプリング・インベストメンツ - インドネシア・エクイティ・ファンド クラス J」の投資証券（米ドル建て）およびわが国の証券投資信託「イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型 I（適格機関投資家向け）」の受益証券（振替受益権を含みます。）を主要投資対象とします。
運用方法	以下の投資制限のもと運用を行います。 ・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 ・株式への直接投資は行いません。
分配方針	毎決算時（毎年5月12日および11月12日。休業日の場合は翌営業日。）に、基準価額水準・市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、収益分配を行わないことがあります。

## 指数に関して

当ファンドの投資対象である「イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型 I（適格機関投資家向け）」のベンチマークについて

ICEデータ・サービスおよびその関連会社は、提供するインデックスデータに関してその継続性、正確性、完全性を保証するものではなく、当該データ提供に係り発生し得る損害についてもその事由の如何を問わず責任を負うものではありません。

## (参考情報) 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



※当ファンドと代表的な資産クラスについて、上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を表示し、定量的に比較できるように作成したものです。当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

※すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

※当ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

### 各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)	株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社 (以下「J P X」という。) の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など TOPIX に関するすべての権利・ノウハウ及び TOPIX に係る商標又は商標に関するすべての権利は J P X が有します。J P X は、TOPIX の指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス (配当込み、円換算ベース)	MSCI Inc. が算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は MSCI Inc. に帰属します。また MSCI Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース)	
日本国債	NOMURA-BPI 国債	野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。
先進国債	J P モルガン G B I グローバル (除く日本、ヘッジなし・円ベース)	J.P. Morgan Securities LLC が算出、公表しているインデックスであり、著作権、知的財産権は J.P. Morgan Securities LLC に帰属します。
新興国債	J P モルガン G B I - E M グローバル・ダイバーシファイド (円ベース)	

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しています。「円換算ベース」は、米ドルベースの指数を当社が円換算したものです。

## ファンドデータ

### 当ファンドの組入資産の内容

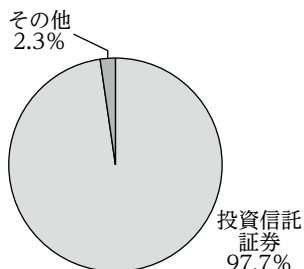
#### 組入ファンド

(組入銘柄数：2銘柄)

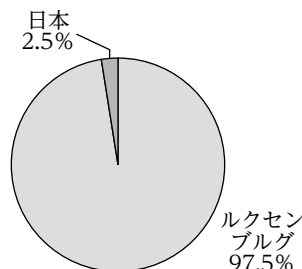
ファンド名	第27期末 2023年5月12日
イーストスプリング・インベストメンツ - インドネシア・エクイティ・ファンド クラスJ	97.5%
イーストスプリング国内債券ファンド(国債)追加型I(適格機関投資家向け)	0.2%

(注)比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

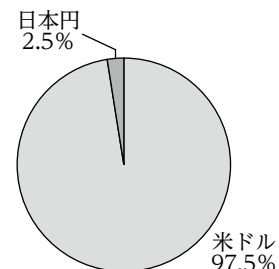
#### 資産別配分



#### 国別配分



#### 通貨別配分



(注)比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

### 純資産等

項目	第27期末 2023年5月12日
純資産総額 (円)	9,290,811,486
受益権総口数 (口)	8,895,494,377
1万口当たり基準価額 (円)	10,444

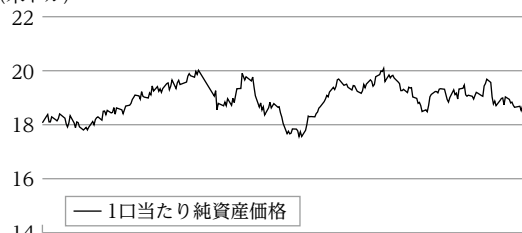
\*当期中において追加設定元本額は2,010,559,099円、一部解約元本額は692,007,489円です。

## 組入上位ファンドの概要

### <イーストスプリング・インベストメンツ - インドネシア・エクイティ・ファンド クラスJ>

#### 基準価額(1口当たり純資産価格)の推移

(米ドル)



2021/12/31

2022/12/31

#### 1万口当たりの費用明細

(2022年1月1日～2022年12月31日)

当該期間のAnnual Report (監査済み)には、1万口当たりの費用明細が開示されていないため、記載できません。

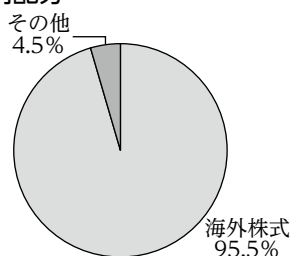
以下は、イーストスプリング・インベストメンツ - インドネシア・エクイティ・ファンドの内容です。

#### 組入上位10銘柄(組入銘柄数：27銘柄)

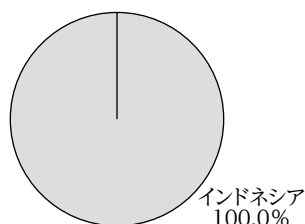
(2022年12月31日現在)

銘柄名	業種	国・地域	比率
Bank Rakyat Indonesia Persero Tbk PT	銀行	インドネシア	9.4%
Bank Mandiri Persero Tbk PT	銀行	インドネシア	9.3%
Telkom Indonesia Persero Tbk PT	電気通信サービス	インドネシア	8.9%
Bank Central Asia Tbk PT	銀行	インドネシア	6.6%
Bank Negara Indonesia Persero Tbk PT	銀行	インドネシア	5.5%
Merdeka Copper Gold Tbk PT	素材	インドネシア	4.9%
Kalbe Farma Tbk PT	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	インドネシア	4.8%
Charoen Pokphand Indonesia Tbk PT	食品・飲料・タバコ	インドネシア	4.6%
Sumber Alfaria Trijaya Tbk PT	食品・生活必需品小売り	インドネシア	4.5%
Unilever Indonesia Tbk PT	家庭用品・パーソナル用品	インドネシア	4.3%

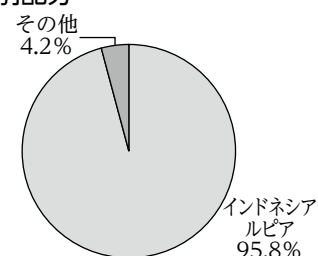
#### 資産別配分



#### 国別配分



#### 通貨別配分



(注1) 組入ファンドのデータは、当社で入手可能な時点のもの(監査済みおよび同時点の関連データを含む)を使用しています。

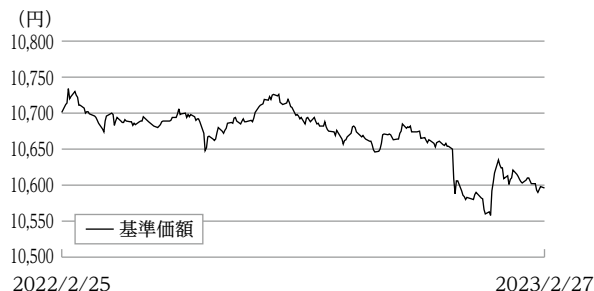
(注2) 組入上位10銘柄、資産別・通貨別配分の比率は組入ファンドの純資産に対する割合、国別配分の比率は組入銘柄の総額に対する割合です。

\* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

## 組入上位ファンドの概要

### <イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型 I（適格機関投資家向け）>

#### 基準価額の推移



#### 1万口当たりの費用明細

(2022年2月26日～2023年2月27日)

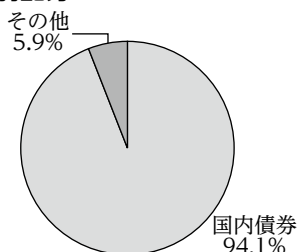
項目	金額	比率
(a) 信託報酬	24円	0.221%
(投信会社)	(15)	(0.144)
(販売会社)	( 2)	(0.022)
(受託会社)	( 6)	(0.055)
(b) その他費用	2	0.014
(監査費用)	( 2)	(0.014)
合計	26	0.235

#### 組入上位10銘柄 (組入銘柄数：10銘柄)

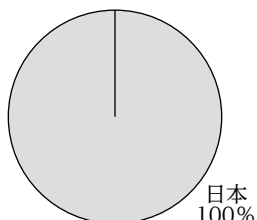
(2023年2月27日現在)

銘柄名	種別	利率	償還日	国・地域	比率
第91回利付国債（20年）	国債	2.3%	2026/9/20	日本	21.3%
第359回利付国債（10年）	国債	0.1%	2030/6/20	日本	12.8%
第117回利付国債（20年）	国債	2.1%	2030/3/20	日本	12.6%
第87回利付国債（20年）	国債	2.2%	2026/3/20	日本	8.6%
第354回利付国債（10年）	国債	0.1%	2029/3/20	日本	8.5%
第63回利付国債（20年）	国債	1.8%	2023/6/20	日本	7.4%
第351回利付国債（10年）	国債	0.1%	2028/6/20	日本	7.2%
第67回利付国債（20年）	国債	1.9%	2024/3/20	日本	6.7%
第80回利付国債（20年）	国債	2.1%	2025/6/20	日本	5.8%
第75回利付国債（20年）	国債	2.1%	2025/3/20	日本	3.1%

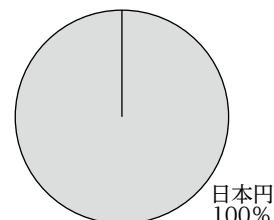
#### 資産別配分



#### 国別配分



#### 通貨別配分



(注1) 1万口当たりの費用明細の項目の概要および注記については、2ページの「1万口当たりの費用明細」の記載をご参照ください。

(注2) 組入上位10銘柄、資産別・通貨別配分の比率は組入ファンドの純資産総額に対する割合、国別配分の比率は組入銘柄の総額に対する割合です。

\* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。